

## 【算数の分析】

### (ア) 学習指導要領の内容などから

- ・学習指導要領の領域「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域において平均正答率は、全国平均を上回っている。
- ・評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、全国平均を上回っている。特に「思考・判断・表現」については全国平均を大きく上回った。
- ・問題形式の「選択式」「短答式」「記述式」のどれもが、全国平均を上回っている。

### (イ) 問題の解答から見える実態

- ・多くの問題が全国平均を上回る中、次の設問で全国平均を下回った。

#### ◆全国平均を下回った設問【大問1(3)】

##### 体積の意味について理解しているかどうかをみる問題

- 問題文にある「36個をすべて使って、高さが4cmの直方体を1つ作りました。」という部分から、単純に $36 \times 4 = 144\text{cm}^3$ という誤答が多かった。また、144ではない4の倍数を答えている誤答もあった。これは、高さが4cmであることから、体積の公式をもとに求めたと考えられる。
- まずは直方体の体積を求めるためには、高さだけでなく縦と横の長さも必要になるということを理解していなければならない。さらに、 $1\text{cm}^3$ の立方体を36個使わなければいけないということに気をつけなければならず、出てきた数字だけで考えたことが誤答につながったと考えられる。

### (ウ) これからの指導において

- ・本校は正答数の割合が大きく、質問調査「算数の勉強は好き」と答えた児童の割合も全国平均を大きく上回っていることから、算数が好きで前向きに学習することで力をつけている。また、「算数の授業の内容は分かる」に肯定的な解答をしている児童の割合も高い。以上のことから、これまで同様に児童の興味関心を高めながら、丁寧な指導を続けていくことが大切である。
- ・(イ)で取り上げた問題はどれも「知識・技能」を問う問題である。直方体の体積は5年生で、四捨五入は4年生で学習する内容である。扱う学年で丁寧に指導することはもちろんだが、生きて働く知識・技能とするためには、後の学年でも機会を見て児童が扱う機会を設ける必要がある。

## 4 生活習慣・学習環境等に関する質問調査結果から見られる特徴について

### 【児童質問の分析】

#### ◆学校生活について

- ・良好な友達関係を築くとともに、教師の支援があることが、安心感のある学校生活につながっている。

- ・一昨年度より校内研究を通してICTの活用に取り組んできたこともあり、授業でICTを活用しているという実感が児童にもあることが分かる。
- ・学級で話し合うことや他者の意見について考えることに前向きな児童が多い中で、自分の意見を伝えることに消極的な児童が一定数存在することが分かる。そのような児童がいることを踏まえた話し合いやグループ編成の工夫をしていきたい。

#### ◆生活面について

- ・基本的な生活習慣が身に付いている。
- ・規範意識の高い児童が多い。

#### ◆学習に向かう意識について

- ・国語や算数の勉強の好き嫌いには差があるが、どちらの教科も将来役に立つという意識をもって取り組んでいることが分かる。
- ・学習したことを実生活に生かしたり、自分で学び方を考え、工夫したりできると考えている児童が多く、学ぶことを前向きに捉えていることが分かる。

#### ◆家庭生活について

- ・家庭において、身近に本がなかったり定期的に新聞を購読することがなかったりと、児童が活字に触れる機会が少なくなっている。
- ・勉強のことや悩み事について、親子や家族で話すことができる家庭が多い。

## 5 今後の学校経営の方向性

### ○基本的な生活習慣等の育成を図ります

- ・あいさつ運動や無言清掃の推進などを通して、学習の基となる基本的な生活習慣の定着を図ります。

### ○「思い遣る心」醸成し、より良い学級集団づくりを進めます

- ・自尊感情や自己肯定感を持ち、自他を尊重し他者と協働できる民主体で安定した学級集団になるよう、いじめのない「思い遣る心」にあふれた「居場所」と「絆」のある学級づくりをめざします。

### ○基礎・基本のより一層の定着を図ります

- ・学力の向上を図るため、各学年の発達段階に応じた分かりやすく楽しい授業と個に応じた指導を行い、より一層の基礎・基本の定着を図ります。

### ○「やまなしスタンダード」を推進し、「甲府スタイル」を基にした授業改善を図ります

- ・見通しと振り返り、動き出したくなる課題提示の更なる実践を通して、子ども達の思考力や判断力、表現力を育てる「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善を行います。

### ○体と心の健康を図ります

- ・望ましい食習慣や生活習慣の定着をめざし、食教育の推進や、早寝・早起き・朝ご飯・トイレの大切さについての指導を継続します。